



常新新聞

定部金貳錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三三五  
 郵税五厘 料字一十行 日祝日ノ型 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊日 印刷 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

刊夕日五十月一

**家座講座**

子供の生活と  
清新なる娛樂 (一)

川崎小鳥 講述

白銀も黄金も玉もにせんに子に儂る寶世にあらめやも

我國の帝都として文化の中心地帯たる彼の大東京を一たまりもなく崩壊し去つた大震災……今では其間既に數ヶ年の日月を閲しては居りますが、當時の物凄さは未だ人の記憶に新らたな處で御座います、其際

筆舌にも盡し難い程の慘鼻の極を呈したのは、本所の被服廠跡で御座います

即ち大正十二年九月一日から二日程過ぎました夜明け方の事、青年團員を中心とした救護團の一隊が、折り重なつて惨死した眼も當てられぬ屍体の收容に懸命な努力を拂つて居る時でありました、何處からともなく聞えて来る細々とした赤子の泣聲……

「ハテ赤ん坊の聲が聞ゆる様だが……」と救護團員の一人は立止りました

「ウム俺もさつきから、どうも赤ん坊の泣き聲らしいのが聞えるなどは思つたが、何處からとも見當がつかないので、疲れた爲めの耳のあやまりかしらと疑つて居た處だ」

其處で救護團の人々は絶え／＼に聞ゆる赤ん坊の泣き聲が一体何處からであらうと、段々段々、屍体を掻き分けて探し廻りますと、ツツ伏せになつて死んで居る其の母親とも見受けられない一人の婦人の下敷きになつて、涙りに泣いて居る可憐な赤ん坊を漸くにして發見する事が出来ました

(續)



**嚴寒の御用意品**

毛糸マント  
ラシャオーバー  
洋服各種  
モヘヤマント  
帽  
白毛襟巻  
チヨツキ

種々入荷致しましたから御用命を……

**にツルヤ**  
電話百四十番

**漆器家具**

種々取揃へてあります  
御越下さい

平一丁目  
**和久井屋**  
電話四〇五番

**御料理仕出し**

うどん そば  
天ぷら  
鰻蒲焼

あまのこ  
まろしほ

**三益玉炭のお奨め**

三井物産會社が多年研究の結果專賣特許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス

○無煙無臭で火付が早く、火持ち良く、火力が強ク日常のニヤキにはコンナ便な品はありません

○それで値段は大變お安く木炭の三分の一で充分間に合ひます

○ドンナニ喰はずさらいの人でも一度使へば必ず御氣ニ召すのが此の玉炭の特長です

値段ハ壹箱金二圓、個數ハ約八百個内外  
お申越次第見本を持參してご覧に供しますからお申越下さい

平 驛 前 (電話二三七番)  
**阿部石炭商店**

冬の御用意

幸福印  
通學服の特價提供

極上小倉製半ズボン上下

一二年用……一圓九十錢  
二三年用……二圓十錢  
三四年用……二圓三十錢  
四五年用……二圓五十錢  
五六年用……二圓七十錢  
高等科用……三圓十錢  
中學生用……三圓五十錢

☑ネルワイシャツネクタイ  
秋冬帽子各種取揃

平町五丁目(電話三五三番)  
**モリタヤ洋品店**

**梅毒 淋病**

皮膚病專門婦人病

平南町 **松村病院**  
電話七〇

御進物には

ヤマフルの商品券が一番

醬油味噌  
たひら正宗  
鯉節食料品

鹽屋  
**山崎合名會社**

福島縣平町  
電話(營業部)一〇番  
(醸造工場)二七番

**木村外科醫院**

花柳科專門

入院自炊の便あり  
平町五丁目橋際  
電話 三〇九番

**御座敷女中**  
至急頼みまし  
— 委細御面談の上 —  
大 和 家  
平南町 (電話一四番)

愚息正儀新潟高等學校在學中之處本日午前五時自宅に於て病死致し候間此段辱知諸氏に御通知申上候

追而明後十六日午後二時菩提院に於て葬儀執行仕候

昭和四年一月十四日  
平南町  
親戚總代 **酒井國三郎 高岡唯一郎**

# 平町の不景氣深刻 夜逃げが三十五名

## 滞納検査で判明

平町役場に於て税金の滞納者について調査したところ行衛不明の滞納者が三十五名ある事が發見された、それは戸數割十八名、營業收益稅六名、雜種稅九名、家屋稅二名で何れも財界不況に祟られて夜逃げ同様に轉住してしまつたもので平町々民の生活が極度に行き詰まつてゐると見る事も出來る

# 強制處分で 滞納の整理

## 直ちに競賣

平町では昭和三年度前期町税、戸數割、營業收益稅附加税の滞納者について整理中であつたが財界不況の結果整理は進捗せず一月十三日現在の滞納者は約七百名此の金額は三千五百圓に達してゐる滞納者に対しては今日迄前後數回に亘り督促をなして來たが財界の不況を口實に殊更に滞納する者等もあり整理が捗らずに居た而して年度變りも近づいて來たので嚴重なる方法をもつて整理を急ぐ事となり十二日から強制處分をして滞納者に對し一齊に差押へを開始したが差押へ後一週間を経過しても納付しない者は直ちに競賣に附す由である

# 塵芥處分決定

## 植田町の懸案

植田町では先頃各町内評議員及衛生世話係區長の協議會を開き塵埃處分方法に關し協議した結果左記協定價格で衛生夫により焼却場に運搬する事となつたこれにて同町多年の懸案は解決した譯である

# 人口動態

## 大体の數字

平町三年度の人口異動状態は過般來より調査中のところ大体左の如くである  
▲出生五一六名▲死亡二八〇名▲婚姻二〇八組▲離婚一七組  
なほ出生死亡を月別によつて見ると出生の三月七十二人が最高で死亡は四月八月の三十人づつが最高である  
井上氏……

# 放送の梗概

## 今晚七時廿五分

平消防組頭井上茂作氏は本日午後七時廿五分から既記の如く大日本消防協會幹事の資格を以つて消防の話に就いて講演ある筈であるが

# 鐵道納炭契約は 町田坑に決定か

## 數量は廿四萬九千噸

石城郡内郡村警備炭礦昨年中の鐵道納炭額數量は三十萬九千噸で一噸當り契約炭價は九圓七十錢より四圓九十錢迄であつたが本年も來る三月迄には納炭契約が成立する事になつて居るの で綴驛信庫係員は目下警備炭礦元山に出張し實地炭質の調査を開始して居るが大體町田坑に決定される模様で評價をなした上契約額の決定を見る筈である

# 家庭狀況調査

## 救護の有無を

平青年團及在郷軍人分會にて今回入營せる壯丁の家入營軍人の



# 晴着の汚點抜き

茶やコーヒーのしみはタンニン酸を含んでおられますから玉葱を御金でこすりこれ

ります、更に又去る六日には全國の消防代表者一萬八千人の多數は宮城外苑において御親臨をたまはるの光榮に浴したのであります吾々消防に職を奉ずる者は聖慮を体し一段の緊張味を以て消防の改善發達をはからなければならぬと思ふのであります

# 故櫻井警女校長 遺族の消息

庭狀況に就き相當救護の必要あるや否やに就き夫々調査する由

揺籠小路青年 平町 擧總會を閉き幹部改選の結果分團長川喜三郎氏重任し副團長に酒井喜代正會計に松本猛の諸氏當選したと

をその部分につけるを取れ ます、醬油は大根汁をつけ ておとすのが最も妙です、 雨のかつたのはグリスリ ンを水に溶きその中でつま み洗ひをし後水濯ぎをしま す、スーブの時は色物なれ ば揮發油をつけて空気に觸 れぬ様に掌で丸めてもみま す、白地ならばアンモンニ

# 八十名を標準に 平刑務支所の改築

## 工費は約二萬五千圓

## 頗るモダンな設計

今昭和四年の前途を景氣つくる石城地方及平町の新規事業として人生の暗い方面といふ關係から餘り人の注意をそそつてゐないものに平刑務支所の根本的改築がある、尤もその設計規模に至つては従前の如く受刑者を收容せず今後は單に僅少の被告のみを

# 收容する 學に改め

なものでないが尙鐵筋コンクリート造りの採光通風その他最もモダンな設計によるもので現在の被告は常に五六名から多くも十二三名を出でぬが土地柄炭礦爭議 等の勃發なきを保ち難いものあるので大体六十人程度の設計であるがその實際に至つては優に八十名を收容し得るものが出來るやうである、而して工費は約二萬五千圓の

# 現在敷地 三千三百坪

豫算でこれが財源は坪の内二千五百坪の拂ひ下代金を以て充當する筈で坪當り十二圓といふ當局の言値に就いては小學校の敷地に欲しいといふ町との間にある程度の掛け引が行はるゝにせよ前記の金額までに漕ぎつけ得る

# 可能性は 稍々確實

と見るべきものがあるのので今議會において該計畫が通過さへすれば大体來五月頃から起工するものと見て大差がないとの事である

# 酒井子息の計 平町

南町醫師酒井國三郎氏子息

# 生徒 貯金

## 總額一萬七千圓

平第一小學校は從來行はれ來つた職員兒童の貯金奨勵に加へ昨秋の御大典を記念し職員生徒の一人も洩る事なき所謂全員貯金の計畫を立てたが、この程いよ／＼在籍千六百九十八人がこれに加はり去月末現在に總額一萬七千二百二十八圓二十錢の一人當り十圓九

# 土地買収協議

## 第三校の新築

平町第三小學校の新築敷地の買収は大体決定を見てゐるが未決定の處もあるのので十六日新築委員會を町役場に於て開き買収未決定の土地について交渉をなす直に工事に着手せしむる様協議を重ねる筈である